

## 会 議 録

会議の名称		令和3年度(2021年度)第1回つくば市学校給食の在り方懇談会		
開催日時		令和3年9月24日(金) 開会 14:00 閉会 16:00		
開催場所		つくば市役所2階会議室201		
事務局(担当課)		教育局健康教育課		
出席者	委員	木村 清隆委員、根本 俊明委員、横山 治夫委員、 吉田 佳代子委員、森田 佳子委員、岡野 光浩委員、玉田 晴美委員、藤 照子委員、吉沼 正美委員、中島 弘志委員、 野澤 政章委員、石塚 英樹委員、猪野 研一委員、金子 朋子委員、金田一 裕穂委員、河口 宗央委員、中右 皓暁委員		
	その他			
	事務局	教育長 森田 充、教育局次長 飯泉 法男、教育局次長 貝塚 厚、健康教育課長 柳町 優子、課長補佐 川又 文江、係長 瓜阪 恵理名、主査 山下 弘文、管理栄養士 小野 ひとみ、会計年度職員 神生 名央美		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	4名
非公開の場合はその理由				
議題				
会 議 次 第	1 開会 2 教育長あいさつ 3 自己紹介 4 座長の選出			

5 事務局説明

- (1) つくば市学校給食の在り方懇談会について
- (2) つくば市学校給食の現状と課題

6 意見交換

7 閉会

<審議内容>

1 開会

2 座長の選出 座長に木村清隆委員を選出

3 会議の公開・非公開 会議及び会議録の公開について報告・説明

4 事務局説明

(1) つくば市学校給食の在り方懇談会について

座長： つくば市学校給食の在り方懇談会について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：（資料に基づき説明）

座長： ただいま事務局から学校給食在り方懇談会についてご説明いただきましたけれども、ご質問等ございましたらば、挙手願います。

ないようですので、議事を進めさせていただきます。もし何か後で気が付いたことがあったときには忌憚なく、この後の意見交換の時に、発言頂いても結構ですので、よろしく願います。

(2) つくば市学校給食の現状と課題について

座長： つくば市学校給食の現状と課題について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：（資料に基づき説明）

座 長： ただいまのつくば市学校給食の現状と課題の説明に対しまして、委員の皆様からの、ご質問等ございましたらば、挙手をお願いいたします。

委 員： ちょっと数字で気になったんですけれども、資料2の20ページの、令和2年度、市内全体の品目数ベースの数値ですが、令和2年度につくば市産が21.3%、茨城県産が15.4%と、前年度に比べて大幅に減ってるんですけど、学校給食センター別の令和2年度の数値を見ると、どれもそんなに前年度より大幅に減ってるようには見えないんですが、これは何で15.4%になったのかなというのが、質問です。

座 長： 事務局お願いいたします。

事務局： はい。事務局です。ただいまご指摘がございました、資料2の20ページ、令和2年度、茨城県産の品目数ベースの使用率なんですけど、申し訳ございません、こちらの不手際で15.4%ではなく、45.4%です。申し訳ございませんでした。

座 長： 改めまして資料2、20ページの市内全体の品目数ベースの上の欄の一番右、令和2年度、2020年度茨城県産の、15.4%と書かれてるものを、45.4%に訂正をよろしくをお願いいたします。

その他ございますか。なければ、議事を次第に沿って進めさせていただきます。

## 5 意見交換

座 長： つくば市の学校給食のあり方に関しまして、また今後の本懇談会の進め方、懇談テーマ等について委員の皆様に関連なご意見を伺いたいと思っております。

それぞれ、この懇談会についてでございますので、先ほど前段で二つ、事務局からこの懇談会のあり方、そして、つくば市の現状課

題等についてご説明いただいのご質問ということでございました。改めまして、ご意見を含めて、また、要望等も含めて、闊達に、忌憚なくご発言していただきたいと思います。挙手をもって発言をお願いいたします。それぞれ皆様ご出席いただいている方の思いはたくさんあるかと思えます。

委員： せっかく農協の方たちもたくさん来ておられるので、資料2の21ページの、地産地消の推進の課題のところ、つくば市産の野菜は時期によって、他の業者と比べて価格が高いものなどが納品されることがあるとか、つくば市産優先によって価格が高くなって、他の材料費を削ることがあるとか、書いてあるんですけども、この辺について、農協さんとかは、何か意見とかないのかなと思って、ぜひせっかくいるんですから何か言っていただきたいなと思うんですけども、いかがでしょうか。

座長： そうしましたらば、JA様からご出席されておりますけども、ご発言のほどお願いいたします。

委員： 先ほどございましたつくば市産21.3%ということでございまして、事務局の目標値は20%ということで、それを超えてるからってということなのでしょう、ちょっとその辺がよくわからないんですが、JAとしてはやはりうちの組合さんのためにも、20%ではなく、もうちょっと上げていただければいいのかなというふうに思うところでございます。

あと時期によって、他の納入業者と比べて高いということでございますが、決してそんな高く上げているというようなことはございません。こういった経緯なのか、業者さんの方が、やはりそういう時には、物が増えてきて若干安くなっているのかなというような感じがするところでございます。農協が高いのではなく、物がだぶつ

いて若干安くなっているのかなということでございまして、こちら  
もやはり、学校給食の方に納品するために作っていただいております  
ので、そういうのは当然優先して落とさせていただきたいというの  
が、事務局としては、一番思うところでございます。

座 長： ありがとうございます。今こちらのレジメ資料ですと、高い時も  
あるという、課題や心配事ということでの、提言がされているので  
すが、良いこともあるかと思うんですね、逆に地元のものを使う  
から物流コストは、例えば北海道の品物を鉄道、空輸、車で運ぶよ  
りは、CO<sub>2</sub>削減も含めて、地元のものであれば、軽トラックなどで  
運べるわけですから、物流コストを考えて安いということもあると  
思います。何かJAさんでもそういったメリットみたいなものを表  
現していただけたらありがたいなと思いますけども、何かございま  
すか。

委 員： メリットというのは、おっしゃる通り地産地消ということでござ  
いまして、皆さんご存知の通り、市場から出てくるものに関しまし  
ては、二、三日経ったものが当然入ってくるというのは、ご存知だ  
と思います。物の状態でございますけど、やはり大産地にしますと  
共選での選別ということでございまして、共選とは共同選果という  
大きな選果場でございまして、品質なり、大きさなり、いろいろそ  
ろえてきて、一つの箱に入れるということでございますので、その  
辺はちょっと載ってるかなということでございますが、地場産のよ  
いところは、当日、遅くとも前日には届けられるということで、  
新鮮さからすれば、当然、まさるものであるというふうに私ども考  
えておりますので、その辺も、よくご理解いただきたいかなとい  
うことです。

座 長： 幅広くご意見を持っているかと思いますが、関連ということであ

りますと今、新鮮さということ、目標値 20%を少しでも上げて欲しいという、JAさんからのご発言がございました。

この目標値は、食品数での食品の種類でのパーセンテージなんです。これは全国的にこのようなデータを取られてるということがあるんですが、実際には食品数だけでなく、カロリーベースだったり、もしくは購入金額ベースで、つくば市ではいくら購入しているのかなど、それが、農業の経済効果、そして市民の納税にも繋がってくる、活性化にも繋がるのかなと思っておりますので、是非ともそういった角度から見て、20%でも、金額的にはこれだけ高いんだよとか、そういうことによつての、農業生産者の活力といいますか、やりがい、達成感、農業の魅力にも繋がるのかなという思いもございます。

学校給食の中で、確かににんじんがほとんど毎日使われているということ。魅力のある農業政策のために、先ほどいろんな話がありましたが、つくば市の野菜が高いと言っても、何らかの要因でやむなく高くしていることかと思っておりますので、そういった場合においては、経済部長も今日見えておりますけども、地元の経済効果や農業を守るためにも、受益者負担で給食費を保護者が払うのは当然かもしれないけども、しかし、農業経済、つくば市の全体経済を守るためには、別途経済的な部分から補助金を出しながら、そして安い野菜をつくる、供給するということが必要かと思っております。

実際の生産する立場で、また今回の懇談会の委員という形で、続けて参りますけども、何かご意見いただけましたらお願いします。

委員： まず、僕の農家ではあるんですけども、スタンスとしましては、学校給食部会立ち上げ当時から入らせていただいて、それは出してるんですけども、大規模センターが、どんどん建って、生産者と

してもつくば市の農家はそこまで大規模な農家は多くないので、1人で1ロットを占めるぐらいの野菜を出せる人というのは限られてしまうんですね。

さらに茎崎も統合されて、桜にでかいセンターができてしまうと、生産者として対応できる人が絞られてしまいます。JAを挟んで給食に野菜出しているというスタイルも、全国的なかなり珍しいとは思いますが、JAさんを挟んでも、対応は難しくなっていくと思うんですね。

それが、学校給食の現状だと思います。その中で僕も、そこまで規模の大きい農家では正直ないので、何年やれるかなあとは正直思っています。

その時に、金額的にもやはり、先ほど話もありましたけど、ちょっと市況より高くなるのが、鼻につく目につくときもあるでしょうし、逆に農協さんからすると、市況が高い時につくば市産をそこまで高く値上げしないで出しているときもあるじゃないかという言い分もあると思うんですね。そういう時に、どう折り合いをつけていくのか、というのが大事だと思います。

僕は農協さんと給食センターと生産者と栄養士さんと学校と結びつけるのは食農教育とか、そういうので、お互いちょっとずつ交流しながら、生産者が給食センターの給食を食べるのもいいんですけども、ちょっとずつ理解を深めていって、設置点を見つけていくしかないとは思っているんですね。

食農教育を農家がみんな対応できるのかというと、農家としてもその専門家ではないですし、シャイな人が多いので、できる人数というのは限られてしまうんですね。僕なんかはそういうのをやりたいので、積極的に行くと、まずみんな農家と聞いて、誰が来るのか

など思ったら、ちょっとうさんくさいおじさんが来たな、みたいな、もっと何かこう農家らしい農家というか、口下手だけど、技術一つで、ずっと長年やってきたみたいな人をどンドン子どもたちのところに、送り込んでいけたらなと思います。

なかなか、学校側のカリキュラムの問題もありますし、ましてやこのコロナ禍で、学校側もナーバスになっていますし、難しいのはわかるんですけども、例えば、去年僕はリモートで1回、谷田部小で授業をやらせていただき、家からやったんですけど、こういうやり方もあるなと思いました。

昔、竹園西小とか給食の時間に行って、給食をみんな食べてる前でちょっとしゃべるみたいな、そういうこともやったこともあります。もっとお互いに気を使わずやれたらいいなと思ってます。

市とか絡んできちゃうと、お金をどうするとか、スケジュールどうするとかすごく難しくなってきたのはしょうがないと思うんですけど、もっと気軽に農家と、小学校が関わっていけたらいいなというのは、すごく思ってます。

あと、生産する立場としてですが、にんじんを作っているんですけど、ここ数年、真夏の猛暑が激しいです。にんじんは、7月20日から8月20日の間に、一冬分の種をまきます。時期が早過ぎてもいいものは取れないですし、遅いと年内ににんじんにならないので、その1ヶ月間に、種をまけるかどうか勝負です。高温と乾燥が近年トレンドになってきまして、つくば市の農家はにんじんに苦労してるんですね。去年、一昨年は非常に不作だったんですが、今年は潤沢にその時期に雨が降ったので、今年の冬はにんじんを皆さんに出せるかなとは思っています。

やっぱり温暖化の影響もあるとは思いますが、冬のにん



じん栽培は、非常に難しくなっています。だから、そういうのに適応していきつつ、さらに大規模な学校給食に、野菜を出荷している農家が今後どれだけできるかというのは、生産者側からしても難しいとは思いますが。

座長： はい、ありがとうございました。先ほどご説明がありましたけども、食育の中での様々な出前事業のような、農業の推進があつての、地産地消、そして子どもたちの健康かなというふうに思っております。

本日はそのような、まず前段的なご意見や印象をとらえ、認識していただきたいと思っております。

改めまして、今後のこの懇談会のスケジュールが説明されましたけども、資料1の3ページ、第1回が本日9月24日、その後、5回目が2月28日にあります。コロナ禍等々の状況によって、内容日程変更の場合もありますが、現段階ではこのような予定で進めさせていただきます。

そして、意見を取りまとめて、教育局、さらには給食センター審議会、さらには議会等で大切な発信をする場でございます。

初めてあり方懇談会を開催させていただきましたので、今のようなご意見も含めた中で、すべては子どもたちのためにとというだけでなく、何か的を絞った形でも、より具体的に提言できるのかなという思いもございます。

その二つについて、具体的な提言、テーマを絞り込むもしくは懇談会の進め方として、ご意見等ございましたらば、ご発言いただきたいと思っております。進め方ですので、これが正しいとかこれが一番ということがございませんので、いろんな方々からお話いただいた中で、より良い方向で進め、そして2回目3回目で多少軌道修正する

ことは、可能かと思いますので、せっかくこういう機会だからこのように進めたらというようなことがございましたらばお願いいたします。

ご指名して大変恐縮ですけども、PTA連絡協議会で、進め方についてご意見いただければと思います。

委員： このような懇談会が初めてということで、こうしたいというような話は今のところ出てないということでありまして、私としても今お話を伺った中で、何を、という部分がいまいち掴めきれていないところもあります。こちらで問題を指摘するということでもないんですよね。問題がどうこうとかじゃなくてこうして欲しいという、希望をまとめていくような、そういう懇談会なのでしょうか。

質問になってしまい申し訳ないのですが、どうしたいということ、を、今いただいた資料の中で、どう述べていったほうがいいのか、正直、どんな意見書作るのかというイメージが全く湧いていないというところでは。

座長： 現状と課題についてご説明いただいたところでありまして、課題があるのであれば、それをより掘り下げて、分析して、より、細かな問題点は、改善できるのかなという思いはあります。

希望的なことの取りまとめ、こうあるべきというようなことがあれば、そういったことも一つのテーマとして、進められるのかなというふうにも今感じているところであります。

委員： 今、地産地消の話がありましたけれど、10ページの課題というところを見ますと4項目あるんですね。

給食センターをどうしましょうというのが、児童生徒急増への対応、あと地産地消とかというのは、ちょっとそれとはまたずれる感じだと思うので、この4項目をどんなふうに話していったらいいの

かというところになるような気がするんですね。

人数も多いので、例えば分科会みたいな形で四つに分けて、お話を進めるとか、そういうのはどうでしょうか。例えば、5、6人だったらもうちょっと話が出るのかなという気もしたりします。給食センターの話とか、地産地消の話、食育、それぞれテーマが違うような気がしますので、一つの提案なんですけど、お考えいただければと思います。

座長： はい、ありがとうございます。進め方としていくつかに絞るといってお話をいただきましたが、今お話がありましたように課題が四つ、大項目がございます。大項目に沿ってか、それをさらに分けた中でテーマを絞り込むか、執行部としても、枠を期せず、皆さんのご意見をという思いでスタートしております。

今ご提案ありました四つに分けてということで、それもかなり少人数、少数、小集団活動ということをご意見いただいたところでございます。執行部の方でお願いします。

事務局： 10ページに課題を四つ挙げさせていただいたので、かえって混乱をさせてしまったかなとは思っていますが、こういったいろいろな課題があるということで、まずこの懇談会にあたりまして、今私たちが置かれている現状と課題を、皆様に知っていただきたかったという部分がございます。

もちろん、この懇談会を通しまして、皆様の意見を参考にしながら、こういった課題解決の糸口を掴んでいければいいなどは考えておりますが、この四つに限った懇談ということではございません。

この課題を解決したいので、もちろんこういう話が出れば一番ありがたい部分ではあるんですが、私どもとしましては、皆様が思う、今後のつくば市における理想の給食といいますか、こういった給食

提供とか、内容がいいよねとか、そういった部分をぜひ懇談いただければありがたいと、勝手ではございますが、考えております。

座長：事務局の方からご説明いただきましたけども、四つの提案や課題を顕在化させていただいて提示しております。

在り方懇談会ということで、忌憚なくご意見いただき、そして、大体一つの会議自体を毎回2時間程度を目安に進めたいなというふうに考えております。場合によっては途中で休憩をとりながら、忌憚なく、雑談をしながらとかということも含めて、まとめていければなというふうに思っております。

四つの課題を少し頭の片隅に置いていただきながら、皆様方の希望的なことで、夢のあるようなことでも結構かと思しますので、方向性をまとめていただいて、その中で、一つ一つ、一步一步近づけられればなというところがございます。

状況を絞り込んでいって、2回もしくは3回目のテーマの時とかに、テーマが二つ三つなったときに、場合によってグループ分けとかということも必要なことかなと思っております。

はい、挙手いただきました、どうぞ。

委員：1度家でも読ませていただいたのですが、給食センターから給食を提供しているとのことで、今私が住んでいるところはみどりの地区で、学園と同じように、人数がすごく増えてまして、子どもが今みどりの義務教育学校に通っています。近々、分校ということで、新しい学校ができるという地区に、住んでいます。

新しい学校を作る際には、給食センターではなく、調理室があったりとか、この地図から見ても、荃崎の一番古い歴史のある給食センターが、今の老朽化等で、どうしたらいいのかというふうに考えているということだったので、一番古い給食センターからみどりの

ってそんなに遠くないかなという地区にありますので、そういったこととかも一緒に考えていただけたらいいのかなと思います。

それにひっくるめて、今アレルギーの対応をしている給食センターは2つということですので、また新しく作った際にはそのアレルギー対応を組み込んだ新しい給食センターがあったりとか、先ほどおっしゃったように、給食センターではなく、給食室があるのであれば、勉強不足でこういった形で納入されているのかわからないんですけども、給食センターではなく給食室と地産地消の農家さんと直接話が出来れば地産地消も進んでいったりもするのかなと思います。

J Aさんが間に入らないと、成り立たない話かもしれないんですが、どれかではなく全部をひっくるめて課題になって、話が進んでいけば面白いのではないかなと素人目線ながら思わせていただきました。

座長： はい、ありがとうございます。一つに絞る、二つに絞るって言っても、結局幅広く、今お話ありましたように、いろんな形の要因が複雑に、波及、またいろんな影響が出てくるのかなと思いますので、その辺の意見も取り入れていければなというふうに思っております。

アレルギーにつきましても、2ヶ所の給食センターから配送している学校のみしか対応できてない。筑波の方とか荃崎の方の子どもたちは、アレルギー除去をした給食を受けることが、現状できてないという課題もございますので、いろんな幅広い課題を、今お話の中で、もっと顕在化しながら、予算を見ようとか、取り組んでみようということも進められるかと思います。

進め方として、それぞれ社会人とか組織の立場から幾つかござい

ましたけども、せっかくでございますので、学生さんの立場で、こういった形で、こういうことで意見がまとまるんじゃないのかなということがあったらお聞かせください。

委員：先ほどから、夢とか理想といったような言葉が、聞かれるのですが、この資料1のスケジュールのところを見ますと最終的には、意見書を出し、そしてまとめられた意見は、市の教育委員会とか、学校給食センターの運営審議会とかに、伝わるということなので、まず最初に、夢とか理想とかそういうものがないと、こういうふうにした方がいいという意見をまとめるのは、当然無理な話だと思います。

具体的な話じゃなくて、申し訳ないのですが、まず最初に、夢のあるというか、こういうものを満たした給食がいいなとか、これを満たして欲しい、こういうものだったらいいなという意見を、まずまとめる時間を取って、予算のことであるとか、敷地のことであるとかいろいろ現実とのすり合わせが必要になってくると思います。

まず最初に夢を出した上で、夢と現実を合わせていくという作業の二つに分けて、それで最終的に意見書にしていく、という流れが必要なのではないかなと思います。

座長：ありがとうございます。素晴らしいですね。まさしくおっしゃる通りといたしますか、遠く高い理想や夢を描きながらも、近くの低い現実に対応していくということかと思っております。そういった形で、ものを見ながら、俯瞰しながら、そして具体的にまとめていければなというふうに思えるところでございます。その他、ご意見等ございますでしょうか。

そうしましたらば、進め方としては、大きくこうあるべき、もしくは先進事例、他の県や市ではこんなことやっていますというような

ものを、それぞれ皆さんの方でインターネットだとか、保護者会だとか、インスタグラムだとか、いろんなことでニュースは取り寄せることができるかと思います。

そういった中での選定を、また次の機会までに、いろいろと調べて、なぜそんなにお金をかけられているのかなとか、なぜそういうふうに対応できているのかなとか、あるいは、今の現象だけでなく、経過・事系列的なものも、場合によって分析をしたりしながら、次回の時にまでに可能であれば、それぞれお調べしていただいたり研究していただければなというふうに思います。

あわせて、四つの課題がございましたけども、さらに砕いて砕いて小さくして、こういったことに対して、何か改善策、もしくは、改善することをテーマ、やり方はわからないけども、こんな現状問題起きてますよというより、具体的な課題問題点の提言等をし、調査していただければなというふうにも思っております。

それぞれこちらにお集まりいただいておりますのは、市民の代表の方、また、市の関係者、それぞれの立場の方がいらっしゃいますので、それぞれの立場で、できることをぜひ、このテーブルの中で進めていただければなと思っております。

次回におきましては、あるべき給食センター、人口増に対しては食材をこうしなければいけないとか、こんないいことをやっているところがあるよとか、こうあるべきだっというような大きな目指すものを、何か見つけていただくような発言を用意していただければなと思っております。

もう一方で、でも現場は、現状は、学校の先生方はこんなに大変な仕事をやっているとか、場合によっては給食を食べる子どもたちの時間、わずかな時間ではなく時間をかけて食事できたらばすごい

ねと、そのためにはどうしたらいいのかとかですね。そのために学校の先生方がどれだけ大変な思いされている、工夫しなきゃいけないとか、食材については、いいものを地産地消しても、農家が農業への魅力をなくして農業の後継者がいなくなったら、地元の米もエンジンもできなくなってしまうわけですから、学校の給食を食べて、将来の夢で農家になりますって手を上げてくるような方が増えるぐらい給食のあり方っていうのは、幅広くあろうかと思います。

今回教育局だけでなく、経済部そして財務部の幹部の方もご出席いただいているわけですので、特に生の声が、3月に意見書としてまとめる過程の部分まで、教育長や担当部長の目に耳に入るといことがすごく大きなことで、すごくいい懇談会だなと感じているところです。

是非とも皆さんはそういった思いで、次回、その二つの角度から、ご提案の進め方で進めていければなと思っております。皆様ご意見いかがでしょうか。

委員： 先ほど他の委員さんが、つくばに来られたばかりで現状もわかっていない中で、すごい純粋な意見を言っておられて、いいなと思っていました。

自校方式の話をなさっていたと思うのですが、五十嵐市長は市長になられたときに、自校方式のことも若干言っていたような記憶があって、あと地産地消率も高い数値を言っておられたような気がしたんですけれども、4年経って、再選なさって、今はどんな感じになっているのですか。

座長： 私の立場からなんとも言いがたいところではありますが、いずれにしろ地産地消につきましても、メリットや大切なことも、それぞれの立場の方も理解しているところかと思います。



ただ、どうしても2万5000食の安全となりますと、対応できない、さらにはコストについて、どうしても自校式ですと、コストがかかってしまうのが現実なんですね。同じ市内であっても、金額が違うという自治体も現実的に全国の中にあるんですけども、そういう部分について、それがいいか悪いか、また様々議論があるかと思えます。

その中での取り組みの中で先ほど説明がありましたが、荃崎の給食センターがかなり長く使われているので、新しく見直しをしなければいけない。荃崎をなくすのか、残すのか。さらには新しく作り直すのかとか、いろんな検討をしているところでございますので、何らかの機会でもたご説明の場もあろうかと思っております。

ただ市長の思いについて、ちょっと私の方では何とも申し上げにくいところありますので、多分、思いは変わってないと思えます。

地産地消率を50にすると言っても、現実的に、さんまをつくばで地産地消とするわけにはいきませんので、経済効果的にどれだけ金額を購入してるかというのも大切な物差しかなと思っているところです。

市長も20を50にするだけでなく、母数単位、物差しを変えて、全体的に見たときに50という思いが何かあるのかなというふうに、私が勝手に思っているところです。

委員： 一つの意見として例えば、これからできる新設校は必ず給食室を設置して、そこで試験的に自校方式を試してみるというのを提言してはどうかという話をすることもありうると思えます。

この会はそれを真剣に意見を言える会なのか、それともやっぱり現実に即してないから、予算も決まっちゃってるから、そういうのは無理ですよと、内々に納められてしまう会なのか、そのところ

は、ぜひ聞きたいところです。

座長： その件につきましては、今の自校式の課題だけでなく、大きな遠くの高い理想を、そして現実の中ではこういうことができるじゃないですかというようなご提言を、ぜひこの場で話していただきたいと思います。そのようなことも言えるような会だと思しますので、本当の生のお声を聞いていただければ、本当に素晴らしい懇談会のメンバーなのかなというふうに思っております。

場所を変えたら、予算がどうなんだとか、現実どうなんだという形にしないと、発言できないテーブルもございますけども、すべては子どもたちのために、そしてその子どもたちが20年後親になった時に、こういう学校で、つくばで育ったからこういう社会人になれている、父親になれたんだ、母親になれたんだ、というそういう給食になればなというふうに、それは家族の繋がりになろうかと思えます。

安心安全な学校給食のために子どもたちの笑顔のためにという、文字がありましたけども、子ども達の笑顔ということは家族の笑顔になる、市民の笑顔になるわけですので、まさしくそこにお金は相当数、予算をつけて、他のことは少し遅れても、望ましいのかなと思いますのでぜひとも忌憚なくご発言していただければなと思えます。

委員： 一市民で、給食のことを子どもから聞く話しか知らないですし、実情に即してないことばかり今言おうとしてるんですが、このままだと、何も話せず、何の役にも立てなそうなのでちょっと思い切って今言わせてください。

今回応募しまして、ぜひお伺いしたかったのが、フードロスのことです。

子どもたちの好き嫌いもあるし、食べきれないものとか、あとは調理しきれなかったものですか、残された食べ物が一体どこに行くのかというのが、まず知りたかったことです。

個人的に、持続可能でないといけないという考えを大切にしています。給食に関しても、残った食べ物がどこに行っているのかなということと、それに関して、真剣に対策を講じて、日本でもつくばがリードできるぐらいの制度が、作っていただけたらいいかなということなんです。

それから給食は、いろいろ献立表ですか、細かい成分とかもいろいろ見させていただいて、本当につくば市の地産地消への努力ですか、あとはカレーをルーから作るとか、お味噌汁をだしから取るとか、ものすごくおいしい給食のために努力されているなというのが、しみじみ感謝の思いでいっぱいなんです。

ただ、それと同時に、どうしてこれは輸入物のアスパラを使う必要があったのかなとか、あとは、おそらくパンに使う小麦粉の8割はカナダ産アメリカ産の輸入物なんだろうなっていうふうに、想像しています。

輸入品を使う理由はないんじゃないかなと思います。理想ですけども、100%つくば産は難しいとしても、100%国産はできるんじゃないかなっていう気がしています。

特に私はパン屋をやっていて、何を言うと思われるかもしれませんが、うちは輸入小麦粉は、オーガニックのものしか使ってはいない、国産の小麦粉を主に使っているんですけど、やっぱり残留農薬、ヨーロッパで認められていないような基準の残留農薬が、カナダ産アメリカ産からは検出されているので、私はそういう小麦粉を使ったパンが、子どもたちのお昼ご飯としてふさわしいとは思

っていないんですね。

あと、子どもの給食に対する感想を聞きましても、ご飯がいいと言います。午後すごくおなかがすくと。パンの日は、給食が全く残らないそうです。男の子たちとか体の大きい子たちは、とにかくおかわりして食べ尽くす。これはうちの子のクラスの話だけかもしれないんですが、とにかくお腹を満たしたい小中学校の子どもたちにはやっぱり和食、ご飯と、野菜とかお魚や肉を使ってほしく、輸入品を使う理由がないなということを、常々思っています。

あと一番の理想を言うと、月に1回でもとにかく安心安全な、給食の日みたいなのが、少しずつでもできてくれればいいなと思っています。

座長：ありがとうございます。まさしく国産というのが大切かなと、その土地でできるものがその土地に生活する体に合っているものというふうによく言われる時もございます。何かそういった体の健康を含めた上で、せっかくの機会ですので栄養士部会から何かお願いします。国産ですとか、体の健康とかの観点から何かご意見等、方向性ありましたらお願いします。

委員：栄養士部会の方でも、国産であったり、県産のものであったり、つくば市産のものであったりということで、なるべく使いたいという思いで、各栄養士が献立を立ててはいます。

ただ、現状として輸入物を使っているのは、特に私がいるほがらか給食センターは、1万2000食を作っていて、各ブロック三献立に分けて、4000食ちょっとという形で分けて作ってはいるんですが、それでもたくさんの野菜を使います。朝早くから調理員さんに来ていただいて調理をしているんですけども、生の野菜だけではとても、朝から作って、給食の時間に間に合うような献立を作るって

うのが厳しいということがあります。

あと、大規模であるがゆえに、野菜がそろわないとか、価格なども、国産のものが高くて、限られた予算の中ではすべて使えず、限られた予算の中で給食を出さなければいけないということを考えると、やはり輸入の物も使わざるをえないとか、そういったいろいろな問題もあって、現状は使っているような状態です。

パンについては、私の方で国産の小麦にということとは言えないので、いろいろな関係機関も関わってくることだと思うので、何とも言えないんですけども、理想としてはもちろん、そういったものができたらとてもすばらしい給食になるのではないかなというところもあります。

栄養士部会としても、少しずつでも目指せるように、努力はしていきたいなというふうには思うのですが、今のところそういったような現状があります。

座長： はい、ありがとうございます。様々な現場でも取り組んでいらっしゃるようですが、ぜひ、さらにこういった会合の中で、顕在化しながら拍車が進められればなと思っております。

パンよりもご飯だとか、もしくはパンであっても、何か一緒に副食によっても、パンだからこそ主食がご飯ではできない何かメニューができるのかなと思うこともあろうかと思えますけど、何か感じたことがあったら発言していただけたらと思います。

委員： 先ほどのパンの日は、本当に男の子たちが給食を食べ尽くすようだというお話がありましたが、これはまさしくその通りで、僕の学校でもそうでした。

これはクラスや学校によってもおかわりの仕方というのは学校ごとに何かいろいろあるようなんですが、いずれにしても、パンの日

というのは、確かにみんなおかわりをしにやってきて、みんなで真剣な顔をしてジャンケンをして、それで勝者がパンを食べるんです。国産であるとか和食であるとか、そういった問題なのかどうかというのは、親が神戸出身であったりもしてパン食の人間なので、あんまりよくわからないっていうのが正直なところであります。

ただ、はっきりこうだろうなといえるのはパンの時はご飯の時よりも、単純にボリュームが少ないです。多分それが、パンの日はおかわりを真剣にするという理由なのではないかなと思います。

ご飯が資料2の、9ページの写真にあるような、それなりの量があるのに対して、バターロールみたいなものが、大きさはこのご飯の箱よりもちょっと幅が狭いぐらいで、パンなので当たり前なんですけど、スカスカというか、そういうところがあります。

ですから、量が足りないっていうのは、パンの日にはあるんじゃないかなと思います。

それから、パンなのかパンじゃないのかが問題かっていうと、完全にそうといえるとは言えないと思っています。

例えば、米粉パンの日があるのですが、この米粉パンは、なかなかボリュームがありますし、さっき言ったようなバターロールとは僕は比較にならないと思うぐらいのボリュームがあって、米粉パンだとあんまりおかわりを取り合うようなことは発生しないです。

ですから、和食か洋食かというのもあるかもしれませんが、何より、パンの日は量がちょっと足りないとか、午後給食の後に、6時間目に例えば体育がありますとかいうと、ちょっときついか、そういう声は聞かれました。

座長：率直にご意見と申しますか体験談をありがとうございます。まさしく午後の体育とか部活をやっていたらお腹がすくとか、是非とも

そのような形で提言の方でも、今まとめに入るわけではなく、これからスタートして課題を確認したところでもありますけども、主食がパンの時には、主菜は少し重いものといえますか、腹持ちがいいようなものをとか、そういった方向性をまた、まとめていければいいなと思います。

あわせて同じように、学校の先生の立場で、ご意見ございましたらお願いします。

委員： 今の話が、とてもうなずける内容で、素晴らしいなと思って聞いていたところです。

現場のものとして、つい最近まで給食を食べていた学生さんと、それから、子どもたちの保護者の皆様と、給食に携わる野菜を作ってくださっている方の、こういう声を、聞ける場に今いるというのはすごく素晴らしいことだと思って、うなずきながら聞いていました。

先ほどの話で、夢のあるという話で、私が思う夢のある給食って何かなと思った時に、やっぱり子どもたちが、食べる給食だと思ったときに、笑顔になるような、そして、それだけじゃなくて、安心安全のものかなと思いながら考えていました。そこを外さないで、そこをベースに考えていくことが大切なのかなと思います。

私の方からは、まず、こんなコロナ禍で、給食を再開してくださる事へ本当に感謝をこの場で、申し上げたいなと思っています。今、学校に2割ぐらいの子どもたちが、オンラインですが学校で学んでいます。医療従事者の方が、保護者であったりすると、仕事も休めないなので、学校で学んでいる子たちがいます。

その子達は保護者が作ってくれたお弁当を持ってくるんですけども、子どもたちが、お弁当も好きだけど、そろそろ給食食べたいな

と、ボソッと書いていました。前向きで食べるんだけど、給食食べたいな。本当に心からの声だと思います。

それは、子どもたちだけじゃなくて、私たち教職員もそろそろ給食を食べたいなってすごく思っているところです。こんな大変な中でも、再開してくださることは、とてもリスクもあるんだと思うんですけども、とても感謝しています。

そしてもう一つ感謝したいことは、食物アレルギーへの対応で、除去食の写真が出ていたと思うんですけども、本校はほがらか給食センターなんですけど、除去食を本校も世話になっています。

とても丁寧に対応してくださっていて、給食配送車で一緒に届けてくださるんですけど、どの人も大切にさせていただいてるので、それを大切に担任の先生から、除去食の必要な子に届いて、説明をして、確認しているところを、周りの子たちも見ながら、それも食育なのかなと思って見えています。子どもたちが食べることを通して、いろんなことを学ぶことができるので、給食はありがたいなと思っています。

先ほどお話があったように、出前授業なんかも最近なかなかできなくて、ただやっていた頃は、今出ている給食を作っている方の、生産者の顔が思い浮かんだり、生産者の方の作る時の苦労の声を生で聞くことができたり、子どもたちにとっては、とっても生きた食育なので、コロナ禍であってもそういうことが、工夫してできないかなと、そういうことを考えるのも、次回、学校としても、先進的な取り組みを調べていきながら、意見が出せるといいなと思うところです。ただ、今意見があるかという点、そこまでは持っていないんですけど、私からは以上です。

座長： すてきなご発言ありがとうございます。本当に感謝という形で、



こういったコロナ禍であっても、給食センター、また納品される業者の方々、また先生方、職員の方々のいろんなリスクを心配しながらも取り組むというその心労の方が、体力的な疲れよりも、心遣いが大変かなと思うところ、感謝したいなと改めて思うところがございます。

時間に限りあるところでもありますけども、せっかくの機会ですので何か改めて、発言、思い、特に制限することありませんので何でも結構です。

委員： 先ほどはあのような意見を言ったんですが若い高校生の方の意見で、ちょっと目が覚める思いをしながらの話を伺ったところございます。

それで、夢と理想を掲げつつというところで、資料としていただきたいなというのが二つあるんですけども、一つとしては、給食費ですね。

給食費が全国平均ではあるものの県平均よりは高いというようなお話があったと思うんですけども、そちらの理由は、どういったことでそうなるのかなと思います。

別に安くていいというふうに思っているわけではないんですけども、それが例えば、地産地消をこれだけの割合で言うとこれだけ増えるんだとか、そういったことの計算ができるのであれば、次回伺えればいいなと思っています。

あと、給食センターの統廃合が進んでいるかと思うんですけども、資料を見ていく中で、令和20年度ぐらいには減少傾向とか、そういったことで、もうお分かりになっているということなんですが、ざっと給食センターをどのようにしていきたいのかという、5か年計画だとか10か年計画だとか、そういったものがあるのであれば、

見てみたいなと思います。

特に大穂と桜の給食センターが閉じたあたりというのは、我々保護者的には、そうなんだ、どうしてだろうというぐらいで、ちょっとよくわからなかったという経緯があります。そちらを閉じなければならなかった理由というか、荃崎は40年以上稼動してても、まだ稼動続けているのに桜は閉じましたと。閉じてなければこの逼迫状況というのはどうだったのかとかいうところで、どういった計画をもとに廃止したのか、経緯をざっと次回説明いただけると、つくば市はこういうふうに通廃合していくんだなということがわかりやすいと思います。

現状のこの課題にこだわらなくてというところではあるんですけども、通廃合が進んでいく、児童数急増への対応っていうところは、それなら安心だねっていうところに腑に落ちれば、理想も立てやすいかなというところで、この2点だけ宿題としてお持ち帰りいただければありがたいなと思います。

座長：健康教育課お願いします。

事務局：ありがとうございます。以上の2点の意見を承りましたので、次回の会議までに、準備をして皆様に配布をしたいと考えております。

座長：ありがたいご意見ありがとうございました。そうですね。高いから悪いってわけじゃないですね。高いけども、これで一品品物がいいんだとか、一つ加えているんですとかですね、何かあればなど、様々なことでお願いいたします。

通廃合については、今までどういう議論で現状になって、そして今後どういうふうになっていくというのは、深く、広くご説明いただければなと思っております。

全体通して改めての質問等そしてご意見等ございますでしょう

か。特別なければ、今後のスケジュールの、資料 1 の 3 ページの第 2 回について、選定テーマそして追加すべきテーマ、事例収集等の提案等ということがたたき台になっております。

繰り返しになりますが、遠くの高い、理想を求めての何か提案とか、しかし、近くの低い現実に沿って、ここをこうすべきというのと、二つの角度から、何かそれぞれで調べてたり、もしくは思い等を持ち合わせていただけたら、その中でさらに掘り下げる、もしくは広げていくということの作業に入っていければなというふうに思っております。

見つけた資料があった時、その資料が配布できるかどうか、その内容についても慎重に判断しなきゃいけないんですが、場合によっては、事務局に 10 月 25 日くらいまでに、何らかの手段で、お届けいただけたらば、次回の時に資料を配布できると思います。

そういったことも、より理解を深めるためには、対応していただきたいと思いますので、何かそのようなことであれば、事前に資料をお届けいただければ、このテーブルで皆さんに配布して、理解を深めて、前に進めればなと思います。

そういったことも含めて、時間より中身の濃い形で、意見交換をして、テーマを絞り込んで提言にいくような形を進めていければなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、様々なご意見をいただきながら、本日用意させていただきました本懇談会における案件は終了ということで、ここで座長の任を解かせていただきまして、議事進行については終結をしたいと思います。ご協力いただきましてありがとうございました。それでは事務局の方に進行のほう渡したいと思っております。今後ともまた次回もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 6 閉会

事務局： 以上をもちまして、つくば市学校給食のあり方懇談会を閉会いたします。本日は貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。次回、11月5日に第2回目の懇談会を開催したいと存じます。それでは本日はどうもありがとうございました。

令和3年度（2021年度）第1回  
つくば市学校給食の在り方懇談会 次第

日時：令和3年（2021年）9月24日（金）

午後2時から4時まで

場所：つくば市役所本庁舎2階 201会議室

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 座長の選出
- 5 事務局説明
  - (1) つくば市学校給食の在り方懇談会について
  - (2) つくば市学校給食の現状と課題
- 6 意見交換
- 7 閉会

## つくば市学校給食の在り方懇談会名簿

(開催期間：令和3年9月1日から令和4年8月31日)

	選任種別	委員氏名	役職等
1	市議会議員	木村 清隆	つくば市議会
2	地方行政機関及び公共的団体の役職員	根本 俊明	JAつくば市営農部長
3		横山 治夫	JAつくば市谷田部営農部長
4	学識経験者	吉田 佳代子	つくば市学校給食会栄養士部会部長
5		井坂 薫	つくば市学校給食会給食主任代表(九重小学校)
6		森田 佳子	つくば市食生活改善推進員協議会会長
7	学校教育関係者	岡野 光浩	つくば市校長会会長(秀峰筑波義務教育学校)
8		玉田 晴美	つくば市学校給食会会長(九重小学校)
9		藤 照子	つくば市幼稚園長会会長(手代木南幼稚園)
10	学校給食運営に関わる市職員	吉沼 正美	つくば市教育局長
11		中島 弘志	つくば市財務部長
12		野澤 政章	つくば市経済部長
13		石塚 英樹	つくば市給食センター代表所長
14	市民	猪野 研一	つくば市PTA連絡協議会会長又は会長が指名した者
15		金子 朋子	市民公募(市内学校等に通う子の保護者)
16		金田一 裕穂	市民公募(市内学校等に通う子の保護者)
17		秋元 波	市民公募
18		河口 宗央	市民公募
19		中右 皓暁	市民公募

## つくば市学校給食の在り方懇談会開催要項

### (開催)

第1条 今後のつくば市の学校給食の基本的な在り方を検討するため、学校給食に係る施設整備や学校給食の課題と方向性について、つくば市学校給食の在り方懇談会（以下「懇談会」という。）を開催する。

### (懇談事項)

第2条 懇談会は、次の各号に掲げる事項について懇談及び意見交換をする。

- (1) 学校給食施設整備及び活用に関すること
- (2) 食育等に関すること
- (3) その他学校給食の在り方を検討するために必要な事項に関すること。

### (構成)

第3条 懇談会は、次に掲げる者のうちから教育委員会が選任した者20人以内をもって構成する。

- (1) 市議会議員
- (2) 地方行政機関及び公共的団体の役職員
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 学校教育関係者
- (5) 学校給食運営に関わる市職員
- (6) 市民から公募した者
- (7) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

### (開催期間)

第4条 懇談会は、令和3年9月1日からおおむね2年間開催する。

### (座長)

第5条 懇談会に座長を置く。

- 2 座長は、構成員の互選により定める。

(庶務)

第6条 懇談会の庶務は、教育局健康教育課において処理する。

附 則

この要項は、令和3年4月23日から施行する。



## つくば市学校給食の在り方懇談会について

## 1 目的

つくば市教育委員会は、学校給食に係る施設整備・学校給食の課題と方向性について、今後の学校給食の在り方を検討するため、「つくば市学校給食の在り方懇談会」を設置する。

つくば市教育委員会は、この懇談会での意見を踏まえ、安全で安心な学校給食事業を運営していくことを目的とする。

## 2 懇談事項

懇談会は、次に掲げる事項について懇談及び意見交換をする。

- (1) 学校給食施設整備及び活用について
- (2) 食育等に関する事
- (3) その他学校給食の在り方を検討するために必要な事項に関する事。

## 3 検討会の組織

- (1) 検討会は、委員 20 名以内で構成する。
- (2) 委員は、教育委員会が委嘱する。

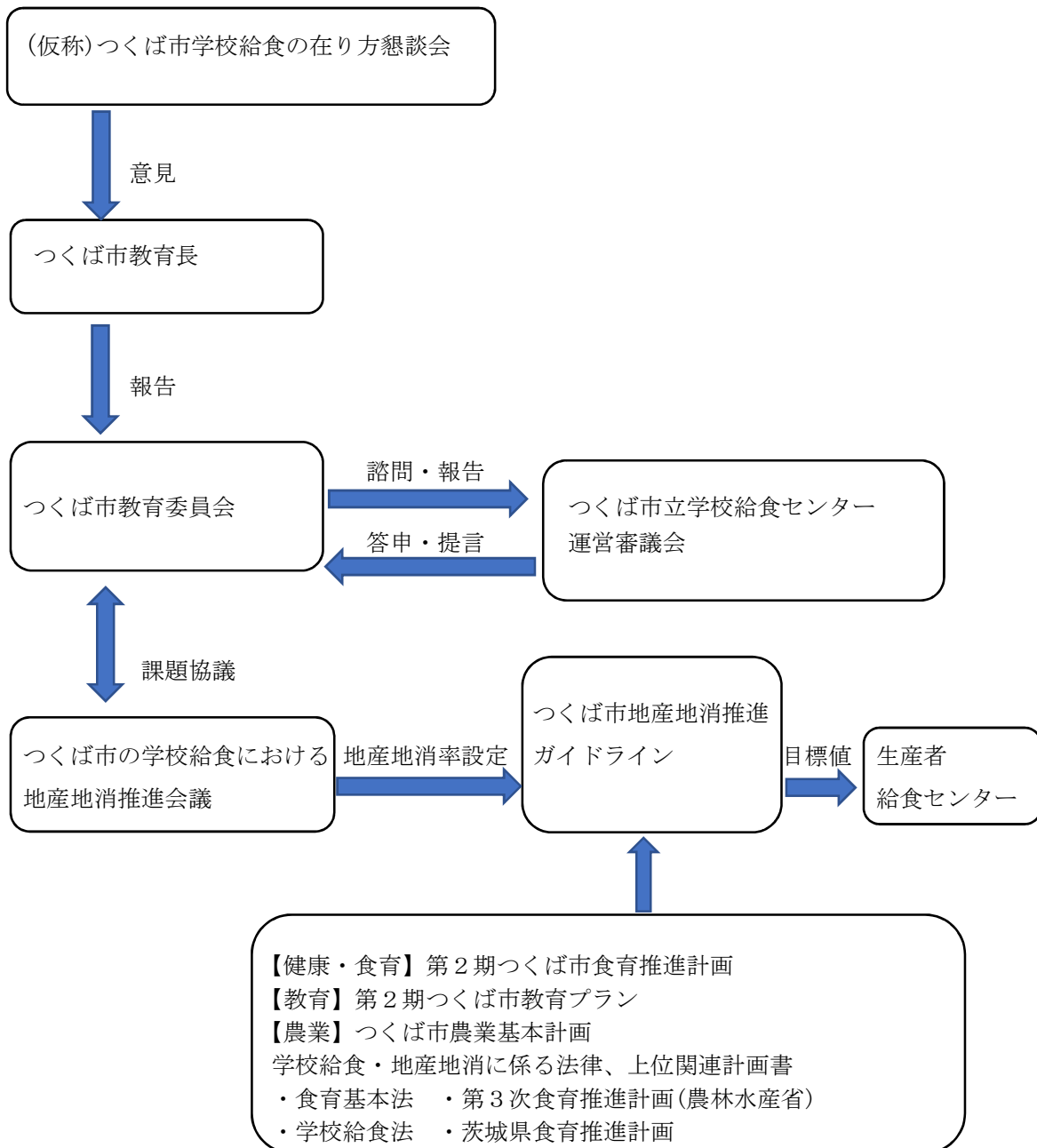
## 懇談会委員名簿 計 19 名

区 分	所属・役職
市議会議員	つくば市議会
地方行政機関及び公共的団体の役職員	J Aつくば役職員
	J A谷田部役職員
学識経験者	つくば市栄養士部会部長
	つくば市学校給食会給食主任代表
	つくば市食生活改善推進員協議会会長
学校教育関係者	つくば市校長会会長
	つくば市学校給食会会長
	つくば市幼稚園会会長
学校給食運営に関わる市職員	つくば市教育局長
	つくば市財務部長
	つくば市経済部長
	つくば市給食センター代表所長

市民	つくば市PTA連絡協議会会長
	市民公募(市内学校等に通う子の保護者)
	市民公募(市内学校等に通う子の保護者)
	市民公募
	市民公募
	市民公募

(3) (仮称)つくば市学校給食の在り方検討会の事務局は、つくば市教育局健康教育課で行う。

#### 4 本検討会の位置づけ



## 5 スケジュール (予定)

日時/場所	件名	内容 (案)
令和3年9月24日 (木) 14:00~16:00 庁舎 201 会議室	第1回	委嘱状交付 自己紹介 事務局説明 ・本懇談会について ・つくば市学校給食の現状と課題 意見交換 ・今後の進め方について ・テーマの設定
令和3年11月5日 (金) 13:30~15:30 庁舎 201 会議室	第2回	意見交換 ・設定テーマについて ・追加すべきテーマ ・事例収集の提案等
令和3年12月27日 (月) 13:30~15:30 庁舎 204 会議室	第3回	意見交換 ・設定テーマについて ・これまでの意見の整理 (つくば市立学校給食センター 運営委審議会報告)
令和4年1月28日 (金) 10:00~12:00 庁舎 204 会議室	第4回	意見書 (案) の検討
令和4年2月28日 (月) 10:00~12:00 庁舎 203 会議室	第5回	意見書のとりまとめ

# つくば市学校給食の現状と課題

教育局 健康教育課



# つくば市学校給食の現状と課題

---

- 1 はじめに
- 2 つくば市学校給食施設の分布  
筑波学校給食センター  
つくばすこやか給食センター-豊里  
つくばほがらか給食センター-谷田部  
荃崎学校給食センター
- 3 運営の概要
- 4 給食の内容
- 5 課題①～④
- 6 まとめ



# はじめに

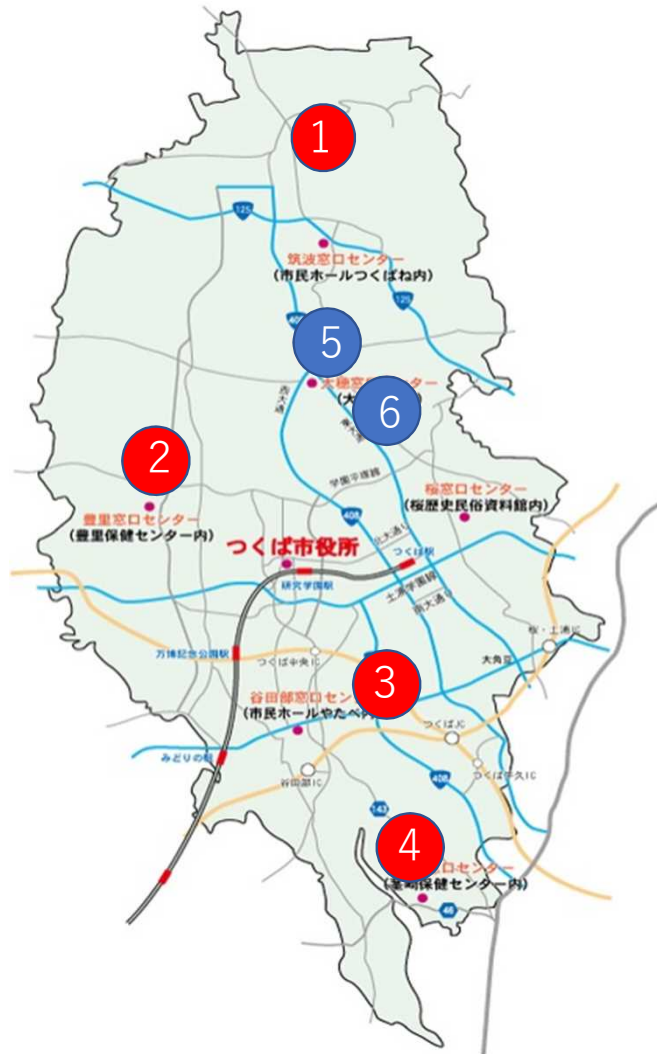
---

## 学校給食の目標

- ✓ 1.適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ✓ 2.日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うこと。
- ✓ 3.学校生活を豊かにし、明るい社交性及び共同の精神を養うこと。
- ✓ 4.食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ✓ 5.食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労に重んずる態度を養うこと。
- ✓ 6.わが国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ✓ 7.食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

(学校給食法第2条)

# つくば市学校給食施設の分布



- 令和2年3月に、大穂学校給食センター(⑤)と桜学校給食センター(⑥)を廃止
- 現在市内4か所の学校給食センターを運営
  - ①筑波学校給食センター
  - ②つくばすこやか給食センター-豊里
  - ③つくばほがらか給食センター-谷田部
  - ④荃崎学校給食センター
- 市内62の小、中、義務教育学校及び幼稚園に、1日当たり約25,000食を提供。

# 筑波学校給食センター

---

◆所在地：つくば市神郡1222

◆開設年月日：H15.4.1

◆延床面積：822m<sup>2</sup>

◆敷地面積：3,502m<sup>2</sup>

◆調理能力：2,500食

◆提供食数：1,745食





























































































































